

まちづくり懇談会（上士別地区） いただいたご意見

日時：令和7年2月19日 18:00～20:00

市参加者：渡辺市長、泉山教育長、大橋総務部長、丸市民部長、東川健康福祉部長、
坂本経済部長、三上生涯学習部長、増田企画課長、萩田企画課副長、企画課職員

市民参加人数：17人

（1）総合計画の基本的な考え方について（資料1）

ご意見なし

（2）持続的なまちづくりについて（資料2, 3）

■ご意見1

- ・高校の無償化が導入された場合、旭川市や札幌市に学生が流出するのではないかと。子どもだけではなく親も流出していく。もし子どもが士別に帰ってきたとしても、その後一番不安なのは出産である。名寄市や旭川市しか産婦人科がなく、移動距離も不安である。こういった部分で家庭任せになっている現状でないのか。市としてどのように考えているか。

■回答1

- ・高校については公立・私立ともに生徒の取り合いになっている。子どもに選ばれる学校になっていかなければならない。東高校も翔雲高校も大事な高校である。学費だけではなく、行きたいと思える学校づくりを検討していきたい。

■ご意見2

- ・東高校について、行政として存続や移転など方向性をどのようにしていくのか。

■回答2

- ・東高校については木造による耐震や老朽化に限界が出てきている。上士別地区に学校を残す残さないという単純な話ではなく、子どもたちにとって何がいいか検討していく。
- ・東高校については何回か訪問させてもらっているが本当に素晴らしい学校。士別市の良さについて学校でしっかり学んで、戻ってきている事例もある。校舎の老朽化で教育環境が悪化しているところもあるため、子どもたちに今以上の負担にならないよう、学校の場所や移動手段を協議している最中である。

■ご意見 3

- ・バス運行について、士別軌道の経営が厳しい中、道北日報の広告で会社が維持できない、空気を運んでいるという表現があった。確かにバスの利用は少ない現状は見ているが、今後自分の自動車運転できなくなっていくときの公共交通の確保が必要となってくる。上士別にはセイコーマートがあるが、もし民間で撤退となると、上士別で買い物もできなくなる。バスは民間運営だが、移動手段についてコミュニティバス等も含めどのように考えているか。

■回答 3

- ・公共交通について、民間が独自で運営している路線、行政が委託している路線、補助している路線等、様々な方式がある。現在市から年間5000万円程度支出しているが、乗車が少ない中これだけ支出してもいいのかとも思っている。公共交通は地域に住み続けるためのコンテンツであることから、あり方を検討して存続していきたい。
- ・人口減少が進む中、各地区で生活用品が買えるような施設はどんどんなくなってきており、採算が取れない状況から、課題の解決については難しいところがある。人口減少を抑えることも対策だし、過疎地域の全国の様々な事例などを研究して進めていきたい。

■ご意見 4

- ・外国人労働者について、宗教・価値観等の違いによるトラブルの例もある。市でどの程度の割合がいるか把握しているか。外国人の土地の買い占めが多くなっており、士別のきれいな水などの資源がおさえられる心配がある。市としてどう考えているか。

■回答 4

- ・市内の外国人の現状について、就労目的が多い現状にある。今士別市には外国人が170人程度いて、アジア系の方が多い。市内には外国人就労者の研修施設もあり、今後も増えていく感覚はある。
- ・外国人労働者について、永住しようとしている人は少ない状況。外国人労働者が増えることで日本人労働者が減り、育成ができないことも危惧される。そういったことも考えていかなければならない。

■ご意見 5

- ・使われなくなった小学校施設の活用は。地域等での活用の可能性もある。

■回答 5

- ・西小学校は特定有給財産として無償譲渡としたが、契約には至らなかった。このことから、中士別小学校を含め解体の方向で検討しているが、時期等については未定である。兼内小学校については方向性が定まっていない。ただし、まだ地域と協議をしているわけではないことから、もし希望があれば活用の検討はできる。

■ご意見 6

- ・士別市の出生数が50人程度ということに非常に驚いている。

■回答 6

- ・平成27年から比較すると半減している。要因としては、婚姻した方の出産している子供の数が減っているというよりは、婚姻数が減っていることが大きな要因であると分析している。

■ご意見 7

- ・今回の提案について、統廃合を市として積極的に進めていかざるを得ない状況で、時間をかけていると危機的状況になってしまうと感じている。出生も50人ということで少しでも増えてほしいが、この状況では学校の統廃合も進めていかなければならないと思う。

■回答 7

- ・人口が減っていくことで一人当たりの行政サービスの単価が上がっており、今回の統廃合は苦渋の選択である。現在市としても財政調整基金を取り崩し予算を組んでいるが、歳入確保に向け国等へ働きかけていきたい。
- ・学校について、子どもがよりよい教育環境で学べるよう進めているが、子どもの数が少なくなっていくにつれて先生の数も減ってきて、教育環境が担保されるのかというところ。子どもの数が10人を切ると学校の統廃合などを検討していかなければならないが、地域や保護者と協議して、子ども第一として学校のあり方を検討していきたいと考えている。

■ご意見 8

- ・サフォークについて長期間取組しているが、いままでどれだけお金をかけてきたか。その経済効果があったのか。士別に帰ってきてその産業でやれるのか、そういった検証をして計画を考えてほしい。

■回答 8

- ・サフォークについて、お金をかけるべきなのかとの意見があることは承知しているが、市民や有志が行政と一緒にまちを盛り上げようと様々な取り組みが行われている中で、引き続き取り組みを続けていくことが必要であると感じている。

■ご意見 9

- ・道の駅について、高速道路が名寄市まで通った時のあり方の対策も考える必要があるのでは。長いスパンで考えていかなければならない。今様々なものを合理化していくのは大切だが、将来の展望についてもっとつきつめて考えてほしい。

■回答 9

- ・道の駅に関して、高速道路が延伸したとしてもスマートフォンなどの情報発信のツールがある。そういった部分を観光協会や商工会議所等と協議してきながらお金を落とせてもらえる方策を進めていきたい。今後は人口減少は避けられないが、交流人口や関係人口を増やし、外貨を獲得していくことが必要である。市の考え方を市民に分かりやすく説明するよう努めていきたい。

■ご意見 10

- ・今回の説明を聞いて、人口減少により財政が厳しく統廃合を進めていくことは、だれの責任ではなく、行政も市民も共に考えていかなければならないこと。仕事を退職などをした後も、士別にずっと住み続けていきたいという人がいるのであれば、そういった人の目線も必要。

■ご意見 11

- ・士別の出張所及び消防分遣所の取り扱いについて、今後も継続してほしい。朝日の公民館分館が廃止となっているが、上士別に関しても兼内分館が廃止される。公民館の在り方の検討は。

■回答 11

- ・出張所の建物に関しては、状況からいうと現状の建物を長寿命化して使えないかと検討している。出張所機能に関しては今後人口の推移等を加味し地域の皆様と協議検討していきたい。
- ・公民館機能については、地域の皆様が活発に活動していれば継続していきたい。人口減少や高齢化により分館機能を支えきれなくなった場合は今後協議させていただきたい。

(3) その他

●市から、上士別医院の診療体制の変更について説明

■ご意見 1

- ・新しい医師を見つけるという方策は今後しないのか。上士別医院を活用している高齢者等の話も聞く。医師が見つからないことは仕方のないことかもしれないが、はなからできないではなく努力してほしい。

■回答 1

- ・人口の少ないところで医師の確保はなかなか厳しい状況であり、今回の体制の変更に至ったものである。今後も医師確保に努力し、地域に医療が残るような形を考えていきたい。